

(様式1)

平成23年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 089	提案機関名 かながわ西湘農業協同組合
要望問題名 湘南ゴールド圃場における犬の毛が有害鳥獣の食害に及ぼす影響	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 湘南ゴールドは越冬させ栽培するため猪・ヒヨドリ・ハクビシン等の有害鳥獣による被害を受けやすい。 犬の毛かハクビシンの忌避効果があるとの成績が出たとの事なので湘南ゴールドでの試験をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	足柄地区事務所 果樹花き研究部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 <input checked="" type="checkbox"/> ④実施済 ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) ブドウ栽培における犬の毛設置によるハクビシン食害防止(成果)			
対応の内容等 犬の毛の設置によるハクビシンの忌避については、当所果樹花き研究部においてブドウ栽培で約1ヶ月半程の期間において効果が確認されておりますので、実施して頂きたいと思っております。 農作物の鳥獣害につきましては深刻な被害等をもたらしている事例もあり、対策等の情報等については随時お伝えしていきたく思います。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			